

お元気！山部さん90歳 伝承活動も意欲的



子どもたちに負けない元気な声を響かせ、あそ伝承文化村ふるさとおもしろ伝承館（阿蘇神社前）で革工芸を教える山部チモトさん（90歳 宮地）。山部さんは、月に一度色々な昔遊びを子どもたちに伝承しています。また、山部さんは教員を退職後始めた革工芸を続けて30年。現在、桃の節句を前にひな壇を革に刻み製作中です（左写真）。その腕前は3ヶ月かけ作ったという高さ1.2mのひな飾りや前の官幣中社時代の阿蘇神社を描いた高さ1mもの力作の数々から伺えます。ハギレも捨てずにミニ盆栽にする粋な感覚も持ち合わせていらっしやいます。

阿蘇を愛してやまない山部さん。今後も、阿蘇の民俗を伝承する活動家として、また革工芸家として、いきいき明るく過ごされることでしょう。ぜひ、市民の皆さん、毎月第4土曜日おもしろ伝承館に遊びに来てください。

▶ おもしろ伝承館での活動の様子。子どもたちと12月は干支「寅」の絵馬を革で作りました。



▲完成した蛇舎



▲完成したトイレ

広い境内の中の植栽も管理が行き届き見事で、眺望よい憩いの場としても楽しめる場所です。場所は赤水の森山ガソリンスタンドから南の方で看板が出ています。

蛇石神社にご神体の蛇舎とトイレが完成しました

赤水地区の名所として古くから親しまれている蛇石神社に、この度、ご神体（白蛇）の蛇舎と身障者用トイレも兼ね備えたトイレが完成し、これを祝う落成式が12月20日、行われました。整備を行ったのは赤水財産管理組合（日田政次組合長）の皆さんで、金運のご利益をと年々増す参拝客に応え、とてもいい所だったと喜ばれる名所にしたいと取り組まれたものです。



蛇石神社の由来

大昔、赤水村に荒天がのしかかった時、岩の間から白蛇が姿を現し、村を救ったというもので、その後も折岩間から蛇が姿を見せるとして祀られてきました。白蛇は金運・豊穡の神とて言い継がれています。